



第1通所介護センター
統括リーダー
白藤 幸代

- ① 第1通所介護センターは、法人で一番古いデイサービスになります。その歴史のあるデイサービスでリーダーが出来る事を嬉しく思っています。機能訓練を中心に在宅生活を1日でも長く継続頂くためのお手伝いをしています。スタッフも経験豊かな職員さんが多く、どんな方でも対応できますので、多くのご利用者に来園頂ける様頑張りたいと思います。今後とも何卒よろしくお願いたします。
- ② 今年度より統括リーダーに就任しましたので地域総合ケアセンターの通所事業が活気ある事業になる様頑張りたいと思います。
- ③ 体を動かす事が好きです。大抵ホットヨガに通っています/力持ちな所



第2通所介護センター
上級リーダー
長谷川 祐美

- ① 津第2通所介護センターのウリは、ご利用者自身に選択して頂くレクリエーションで日々異なる取り組みをしています。身体を動かさず体操や手芸や脳トレの他、生け花の講師を招いてのフラワーアレンジメント、資格を取得した職員によるハンドマッサージをさせていただきます。「笑顔で健康に」なれるようお手伝いさせていただきます。
- ② 運動をする。
- ③ 家族で出掛けたり、釣りに行ったりしています/すぐに寝れる



津中部南地域包括支援センター
リーダー
宮内 万琴

- ① 地域包括支援センターには保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員など専門職が配置されており、津中部南地域包括支援センターは6名体制です。役割である「総合相談」「介護予防ケアマネジメント」「権利擁護」「包括的・継続的ケアマネジメント」に皆で協力・連携しながら取り組んでいます。もちろん地域の高齢者とその方を支える方への支援です。私達6名だけでは解決できないことばかりです。民生委員・自治会・行政・ケアマネジャー・警察・病院・社協等様々な機関と繋がりを持ち仕事をしており、遣りがいいある部署であると思っております。
- ② 年々衰えを感じずにはいられないのですが、私以外の5名はともてもできたメンバーであり助けられています。まだまだ奮闘していかなければ!と思っております。
- ③ 親と老いた愛犬の介護・韓流ドラマ鑑賞/満車の駐車場の中から、空車スペースを見つける



津介護老人保健施設
上級リーダー
横山 健二

- ① 津介護老人保健施設では、医師・看護師の医療的ケアに加え、理学療法士・作業療法士による個別機能訓練、管理栄養士による栄養管理、介護支援専門員による施設生活プランの作成など、老人保健施設内であらゆる専門的なサービスを受ける事ができます。また、ご利用者ファーストの精神で、ご利用者の立場に立って対応し、より質の高いサービスの提供に努められるよう、職員一人ひとりが専門職としての誇りと自覚を持ち、より良いチームワークを発揮できるよう、職員一同、日々研鑽しております。
- ② ご利用者・ご家族に対し、施設での生活が少しでも安心していただけるよう、関わりを大切にしていきたいです。また、より良いサービスが提供できるよう、多職種との連携を大切に頑張っていきたいと思っております。
- ③ 子どものスポ少練習や試合観戦に行ったり、一緒に練習をしたりしています/御飯を作る(味はともかく作ることに意義がある)



高茶屋居宅介護支援センター
ブロックリーダー
田中 佑司

- ① 私が勤めている高茶屋居宅介護支援センターには経験豊富な介護支援専門員が多く、ご利用者、ご家族の幅広いニーズに対して、職員間でも連携を図り、お互いにフォローするだけでなく、助言しあったりすることができる風通しの良い職場だと感じています。また、在宅での生活がより良いものとなるために、個々の介護支援専門員がそれぞれ皆様にご利用者、ご家族の皆様へ寄り添い、一緒に考えるなど真摯に向き合うことができる場所です。
- ② 介護支援専門員としてのスキルアップはもちろんのことですが、この経験豊富なチームメイトが働きやすい環境を維持すること、相談事に対してアドバイスができるように自己研鑽していきます。
- ③ 子どもの野球の試合の観戦や健康のためのランニング/バリカン(自分の頭限定)



ケアハウス
ブロックリーダー
本居 明美

- ① 「まだ一人で暮らせる」と思っている不安なことはあると思います。そんな不安が解消できる施設だと思えます。少し手伝ってもらうだけで、見守ってもらうだけで、現状維持しながら今の生活が続けられる。プライベートの空間も保って、みんなで過ごせる場もあり交流も図れる。一人だと不安だけど誰かがいてくれる安心感。そして、同敷地内にある特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホームとも連携しており、ケアハウスでの生活が困難となった時にも次の棲家として相談ができることです。
- ② 「ケアハウスへ来て良かった」と思ってもらえるよう、ご利用者、ご家族との関わりを大切にしていきたいと思えます。一人ひとりのご利用者が安心して生活が継続できるよう職員同士のコミュニケーションを大切にし、常にご利用者に寄り添った生活のサポートができるよう職員がひとつになり力を合わせて頑張っていきたいと思えます。
- ③ 息子の野球の応援・友人とランチ・推しのライブに行く/丈夫な体・どこでも寝れる



津介護老人福祉施設
ブロックリーダー
井坂 晴香

- ① 津介護老人福祉施設では、一人ひとりのご要望に丁寧に対応させていただくよう心がけております。職員は20~40代の職員が多いエネルギーな職場です。一部リニューアルした心地の良い空間で笑顔で過ごしていただけるようお手伝いさせていただきます。
- ② 万里の長城へ行くこと。
- ③ 愛犬のスタンダードプードルと遊ぶこと。/そろばん



津通所リハビリセンター
ブロックリーダー
三宅 麻起

- ① 津通所リハビリセンターのウリは「活趣」をコンセプトとした身体もこころもサポートする取り組みです。ご利用者の憩いの場として、また身体を動かして現状の維持や向上を図れるように努めてさせていただきます。
- ② ご利用者から「また来たい」と言って頂けるようお手伝いをしたり、職員が働きやすい職場として仲間を大事にしていきたいです。
- ③ 子どもたちとグルメ探しや出掛けたり、節約しながら自宅での料理をしたりしています。/ドライブをする事とすぐに寝れる事です。

洗心

共にくらし、共にはぐくむ。



- p2. 多世代交流の実践に向けて
- p3. 世代を超えた新たな共生社会に向けて
- p4.5. 地域総合ケアセンター リニューアル!
- p6. 夏のカーニバル、楽しかったね!(5歳児)
- p7. 祝敬老インタビュー
- p8. 今、輝いているあなたにクリック



洗心福祉会ホームページ

photo: グループホームだいおうシルバーケア豊壽園

多世代交流の実践に向けて

平素より皆様には社会福祉法人洗心福祉会の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、志摩市大王町で運営する認知症対応型グループホームの併設事業所として、障がいのある方を対象とした入居施設「共同生活援助」の事業運営を開始しました。

本施設は、平成20年4月に地域密着型サービスの「小規模多機能型居宅介護」と「認知症対応型グループホーム」の併設事業として運営を開始したのが始まりとなります。

「訪問」「通い」「泊り」を顔なじみの職員より一体的サービスとして、制度導入時より期待されていましたが、志摩市全体の人口動態や社会情勢、介護保険制度の変革等の中、小規模多機能型居宅介護事業の今後の在り方そ

のものを協議するようになりました。その後、施設の有効活用と地域のニーズに応えられるよう事業転換に着手し、新たに障がい者グループホーム（共同生活援助）を立ち上げるに至っています。

認知症のある高齢者と障がいのある方が共に暮らす新たなコミュニティの実践を目的に、単なる施設の拡充にとどまらず、多世代交流を通じて、互いに支え合い安心して暮らせる環境を提供することを目指します。日常生活の中で、異なる背景を持つ方々が交流し、理解し合うことで、豊かな人間関係が築くことに期待しています。

私たちの思いは、すべてのご利用者が安心して暮らせる場所を提供することです。認知症のある高齢者の方々には安心して過ごせる環境を、障がい

のある方々には、自立した生活をサポートする場を提供します。これにより、ご利用者一人ひとりが自分らしく生きることができると社会の実現を目指しています。

また、地域の皆様との連携を大切に、地域社会全体で支え合う仕組みを構築していくことも重要と考えています。地域の皆様のご理解とご協力を賜りながら、ご利用者が安心して暮らせる環境を整えていきます。

今後も、地域の皆様と共に歩みながら、より良いサービスの提供に努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

志摩地区
地域密着型事業担当
施設長 山邊 かおり



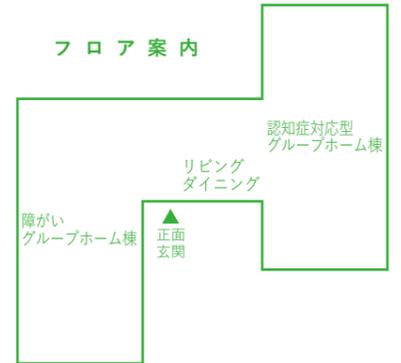
世代を超えた 新たな共生社会に向けて

グループホーム
だいおうシルバーケア豊壽園

志摩市で運営する認知症対応型グループホームの併設事業所として、令和6年6月より障がいのある方を対象としたグループホーム「共同生活援助（定員5名）」を開設しました。

その開設にあたって開催した内覧会では、暑い季節にも関わらず多くの方にご来場いただきました。内覧会では実際の暮らしのイメージをできる様にモデルルームの展示のほか、高齢者の方とひとつの建屋というコミュニティの中で、日常を通した世代間交流が図れる環境も同時にご覧いただきました。グループホームの入居を目的とした体験利用も可能で、内覧会以降多くの方が体験利用されています。その体験利用を通して、すでに新しい環境の中で生活をスタートされている方もみえます。

このグループホームの特徴と魅力のひとつに、将来親が認知症を患ったとしても、障がいのある子と同じ建屋の中で一緒に生活できることも想定しています。共に過ごす環境を通して、互いの安心に繋げていく、こうした取り組みが法人の目指す新たな共生社会です。



地域総合ケアセンターリニューアル！ 津市高茶屋

西館 津通所リハビリセンターシルバーケア豊壽園

この度、地域総合ケアセンター西館内にある通所リハビリセンターは、リニューアルオープンを迎えました。食事提供の際に使用する温冷配膳車の全館導入に加え、通所リハビリセンターのリハビリスペースとご利用者の生活空間を一新しました。「活憩（いきいき）」をテーマに掲げ、毎日ご利用したくなるような環境づくりを目的に、設計施工業者と日々協議をしながら進めてまいりました。床を木目調とし、フロアの中央にはシンボルとなる「パーゴラ※」でくつろぐ癒しの空間としました。また間接照明とグリーンモニュメントを施し、カフェの雰囲気を出しています。フロア内も、ナチュラルウッドのテーブルでグリーンモニュメントを囲むように配置することで、照明の灯により、木漏れ日が降りそそいでいるように感じることが出来ます。スタッフたちの思いを込めた新しい通所リハビリセンターにぜひ一度足を運んでご覧いただきたいと思ひます。



活憩
ココロ、カラダ、トノエル。

いきいき
活憩とは？
「活」… 身体を動かすリハビリ
「憩」… 癒しと憩いの空間
「ココロ、カラダ、トノエル」
をテーマに
こころと身体をサポートをお届けします。

東館 特別養護老人ホームシルバーケア豊壽園

平成5年に津市高茶屋で開設した特別養護老人ホームも昨年30周年を迎え、2階フロアを主としたリニューアルを行いました。今回のリニューアルでは、木のぬくもりを感じられる空間をコンセプトに、明るい色調の木材を使用しています。施設全体が柔らかく温かみのある雰囲気になっており、ご利用者がリラックスできるような仕上がりとなっています。柔らかな印象の照明や、自然光を最大限に取り入れる窓も増えたことが特徴です。また、効率的な業務環境により職員の働きやすさと、ご利用者支援の充実を図れるよう工夫しています。目的や用途に合わせた収納スペースや職員が心身共にリラックスできる休憩スペースなど、バックヤードにもこだわった造りとなっています。



※ パーゴラはイタリア語で葡萄棚という意で、蔦・藤などのつる性植物を絡ますように造ったトンネル状の棚のこと。開放的であると同時に、植物による日除けのスペースであり、庭園における景観的美しさも兼ね備えます。



お問い合わせ

津通所リハビリセンター
シルバーケア豊壽園

TEL 059-235-5513

お問い合わせ

特別養護老人ホーム
シルバーケア豊壽園
(介護老人福祉施設)

TEL 059-235-2100

夏のカーニバル、 楽しかったね！（5歳児）

豊野保育園

7月13日（土）に、津大門のつまちなか保育園と合同で『夏のカーニバル』を楽しみました。

3グループに分かれて、友だちと力を合わせてボーリング大会や宝探しに挑戦したり、園庭で元気いっぱい水遊びをしたりして、楽しみました。

昼食では、子どもたちの大好きなカレーライスやサンドイッチ、フルーツポンチなどで、たくさんメニューが準備されており、みんな大喜び！バイキング形式でお腹いっぱい食べました。

午後からも、グループ活動やお買い物ごっこ、金魚すくい大会、探検ごっこなど楽しいことが盛りだくさん！

帰り際には、友だちと「カーニバル、楽しかったね！」「おみやげもいっぱい！」

と楽しそうに話し、素敵な夏の思い出ができました。



祝 敬老 インタビュー

今年も多くのご利用者が長寿を迎えられました。心よりお祝い申し上げます。
長寿を迎えられたご利用者にインタビューさせていただきました。



いわき こあさ 様
（107歳）

阿児第2通所介護
センター真珠荘
（ご利用年数1年3ヶ月）

- Q. 思い出を教えてください。楽しかったこと、印象に残っていること。
A. 暫く考えられていましたが、「家族と過ごした時間が自分にとっての幸せ。」という言葉が以前にお聞きしたことがあります。家族と過ごした時間が良い思い出なのだと思います。

- Q. 長寿の秘訣を教えてください。
A. 「さあ、何かいな」としばらくお考えになられ。職員が好き嫌いなく何でも食べることですかと聞くと「そうやなあ。嫌いなものは無いなあ。」「何でも食べてきたから長生きできた。」と教えていただきました。



- Q. 今、楽しみにしている事を教えてください。
A. 「さあ、何かいな」としばらく考えられたあと、「今が一番嬉しいなあ。」と話していただきました。



よしわか ちるよ 様
（102歳）

特別養護老人ホーム
甲賀シルバーケア豊壽園
（ご利用年数3年9ヶ月）

- Q. 思い出を教えてください。楽しかったこと、印象に残っていること。
A. 小学校6年間友達と仲良く通ったことです。毎日友達とおしゃべりして楽しかった。それまではこんなにおしゃべりではなかったのに。小学校の友達3人が生きています。子供ができてうれしかった。4人の子供は宝です。今では孫10人、ひ孫は20人います。



- Q. 長寿の秘訣を教えてください。
A. 自分の体に気をつけていました。心配性なので、寒くなる前から首にスカーフを巻いて風邪をひかないようにしています。食べ物は冷えた物はあまり食べない。暴飲暴食はしない、冷えた物はビールくらいしか飲みません。町の健康診断で血圧が高いと言われたので40歳ぐらいから毎日3キロぐらい散歩していました。

- Q. 今、楽しみにしている事を教えてください。
A. みんなとおしゃべりしたり、好きなことをしたり、今は塗り絵をしたりすることが楽しみです。大正琴やパッチワーク、手芸が趣味だった。今では難しいけど、趣味をもつことが大事ですね。



いとう よしお 様
（100歳）

第1通所介護センター
鈴鹿シルバーケア豊壽園
（ご利用年数9年）

- Q. 思い出を教えてください。楽しかったこと、印象に残っていること。
A. 四日市で生まれて9歳になる前に母親が亡くなった、それからおじいさんとおばあさんに弟と妹の3人で育ててもらった。親父は気ままな人で家に寄り付かない人だった。S64年に鈴鹿にきて仕事を定年まで続けられたのは家内のおかげ。家内には感謝している。「感謝してもしきれない」と今にも泣きそうになりながら何度も奥様に感謝の言葉を言っておられました。

- Q. 長寿の秘訣を教えてください。
A. 「やりたい事は何でもやってきた興味のある事は何でも、釣りやボウリング、ゴルフとか」奥様と一緒に色々な事を一緒にしてきたそうです。食べ物に嫌いな物がなかった「家内の作る物は何でも美味しかった」奥様のおかげとの事でした。



- Q. 今、楽しみにしている事を教えてください。
A. 脳梗塞で倒れてから奥様に支えられて、どうにか暮らしている。自分は今まで自由に生きてきて家内や息子に迷惑をかけてきた。「今の生活が送れているのは家族のおかげ、家内に感謝して生きて行ける事です」と照れながら話して頂けました。